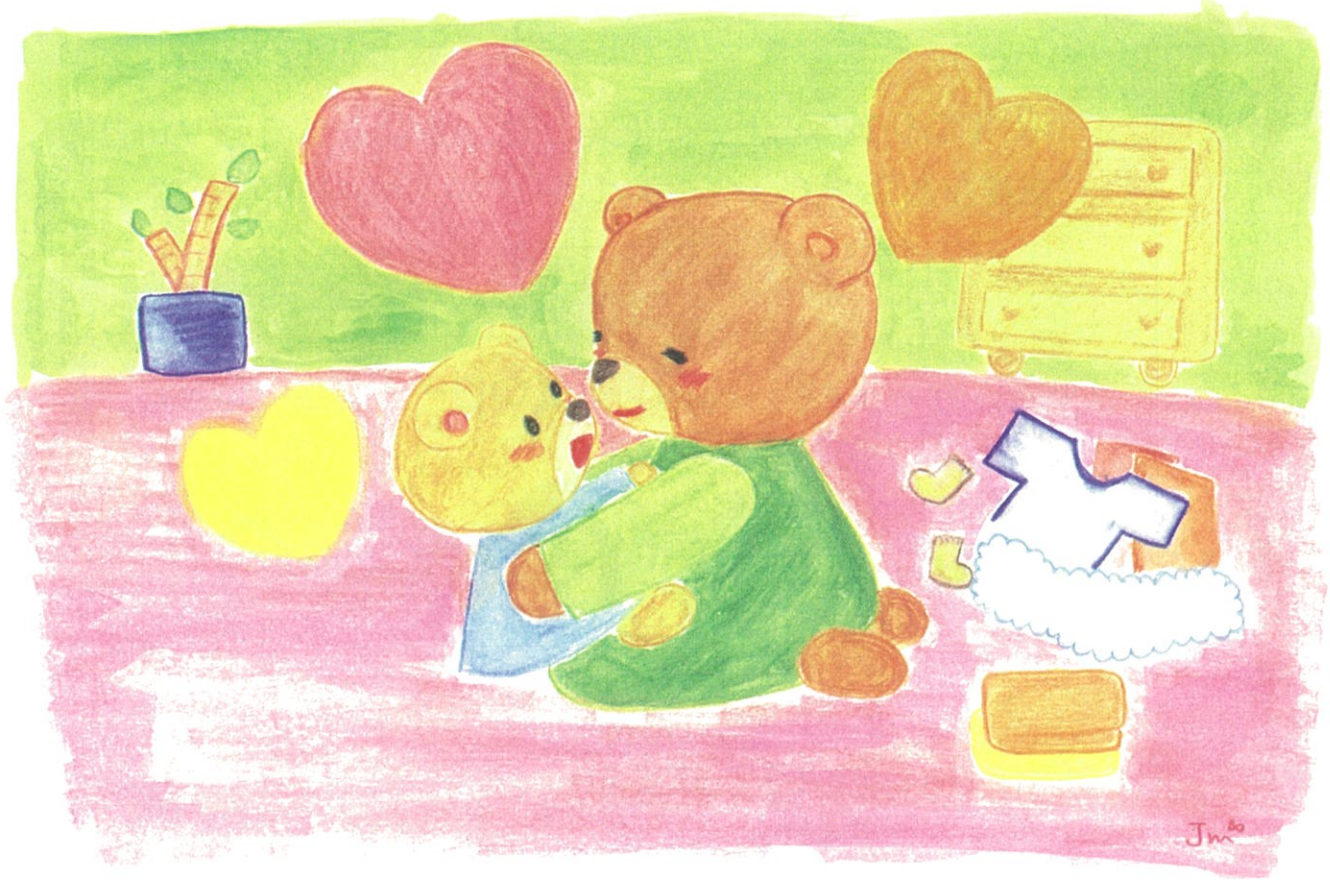




朝ごはんを しっかり食べよう

朝ごはんは、元気な一日のスタートにかかせません。
眠っている間にも脳はエネルギーを消費しています。
朝ごはんを食べないと、脳はエネルギー切れになり、
集中力や記憶力が低下し、イライラしやすくなります。
朝ごはんをしっかり食べて、今日も一日がんばろう！





子どもの気持ちに 寄り添いましょう

子どもが話しかけてきたときは、手をとめてじっくり
聴きましょう。
子どもは自分の話を聞いてもらうことで満足感を得ます。
子どもは気持ちを受け止めてもらうことで、愛されて
いることを実感できるでしょう。





かぞくともだちちいさ
 家族・友達・地域

たが
 互いに

そだ
 育ちあいましょう

「ちょっとまって！」^{ともだち}友達や^{ちいさ}地域の人と一緒に^{いっしょ}のときに、
 「なにか^{へん}変だな・・・」と^{かん}感じたら^{ゆうき}勇気を出して^{こうどう}行動し
 てみましょう。たとえ、^{ほか}他の人と^{ひと}違って、^{ちが}自分^{じぶん}の
^{おも}思いを^{つた}伝えられる人、^{ひと}「ダメなことはダメ」と^い言える人^{ひと}
 になりたいものです。





「大好きだよ！」 のラブコール

子どもへの愛は無条件。生まれてくれたことだけで嬉しかったはず。

成績がいいから、運動ができるからではなく、無条件におうちの人から存在そのものが「素敵だよ」「大好きだよ」などの言葉をもらうことで満たされた気持ちになります。





ふるさと一番!
響く元気な
デカンショ節!

デカンショ節にまつわるストーリーがまちのあちこち
に残っています。

“ほりの櫻が咲いたよ咲いた 城下一面 花吹雪”
ふるさとを愛し、大切に思う心を育てたいものです。

※デカンショ節にまつわるストーリーが、日本遺産に認定（H27年4月）されました。





てあ
手を合わせ、
かんしゃ
感謝をこめて
「いただきます」

おいしいごはんを食べることができるのは、太陽・水・
つち しぜん めぐ さいりょう やさい にく さかな
土などの自然の恵みと、材料となる野菜・肉・魚などを
そだ ひと ひと りょうり つく ひと さまざま
育ててくれる人、また料理を作ってくれる人など様々な
ひと
人たちがかわってくれるからです。

おいしく食事ができること、大切な命をいただくこと
かんしゃ
に感謝して「いただきます」。





「ありがとう」は みんなが笑顔になる 魔法のことは

ついつい^あ当たり^{まえ}前に^{おも}思ってしまう^{にちじょう}日常^{なか}の中にも
たくさんの「ありがとう」があります。

うれしいな^{おも}と思ったら、^{こえ}声^だに出して^{つた}伝えてみま
しょう。

きっと^{じぶん}自分も^{あいて}相手もほっこりした^{きも}気持ちになりますよ。





気づきを 大切にしましょう

ともだち かぞく まわ ひと ちが
友達や家族など周りの人が「いつもと違うな・・・」
いつものげんきがないな・・・と感じたら、
「どうしたの？」と声をかけてみましょう。
あなたのその気づきに救われる人がいますよ。





「だんない だんない」

「しまった…」^{わる}「悪かった…」と後から^{あと}気づく^きこともありますね。
そんなときには、「ごめんなさい」の^{きも}気持ちを^{すなお}素直に
^{つた}伝えてみましょう。

そして、「ごめんなさい」と言われたとき、^{あいて}相手を
^{ゆる}許せる^{おお}大きな^{こころ}心^いがもてる^{いい}といいですね。

「だんない だんない お互い^{たが}さんやに」

